

取扱いの趣旨

コルチゾール等は、二次性高血圧症の原因疾患の診断に用いられるため、初診時における二次性高血圧症等がない高血圧症のみに対する算定は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】 《令和6年6月28日》

209 初診時における二次性高血圧症等がない高血圧症のみに対するコルチゾール等の算定について

○ 取扱い

初診時における二次性高血圧症等がない高血圧症のみに対する次の検査の算定は、原則として認められない。

- (1) D008「14」コルチゾール
- (2) D008「15」アルドステロン（尿）
- (3) D008「29」カテコールアミン分画
- (4) D008「37」カテコールアミン
- (5) D008「45」メタネフリン・ノルメタネフリン分画

○ 取扱いを作成した根拠等

一般的にいう高血圧症は、生活習慣・食生活・遺伝的素因など様々な要因の組合わせにより発症するものを指すことが多く、このような原因が特定できない高血圧症を本態性高血圧症といい、他の疾患が原因となっている場合を二次性高血圧症という。血圧上昇を症状の一つとする疾患は、すべて二次性高血圧の原因となり、その主なものとしては、内分泌疾患、血管疾患、睡眠障害などがあげられる。

上記の各種ホルモン検査は、初診時における二次性高血圧症の原因疾患の診断に用いられる。

以上のことから、初診時における二次性高血圧症等がない高血圧症のみに対する上記検査の算定は原則として認められないと判断した。

検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	秋田、三重、宮城、鳥取、徳島	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	宮城	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	秋田、三重、宮城、鳥取、徳島	〃

■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・傷病名より、副腎腫瘍等の二次性高血圧症の原因となる疾患があることから、妥当と判断した事例

■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）
⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）
⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）
⇒審査委員長から連絡・再周知

2024年11月～2025年7月審査分

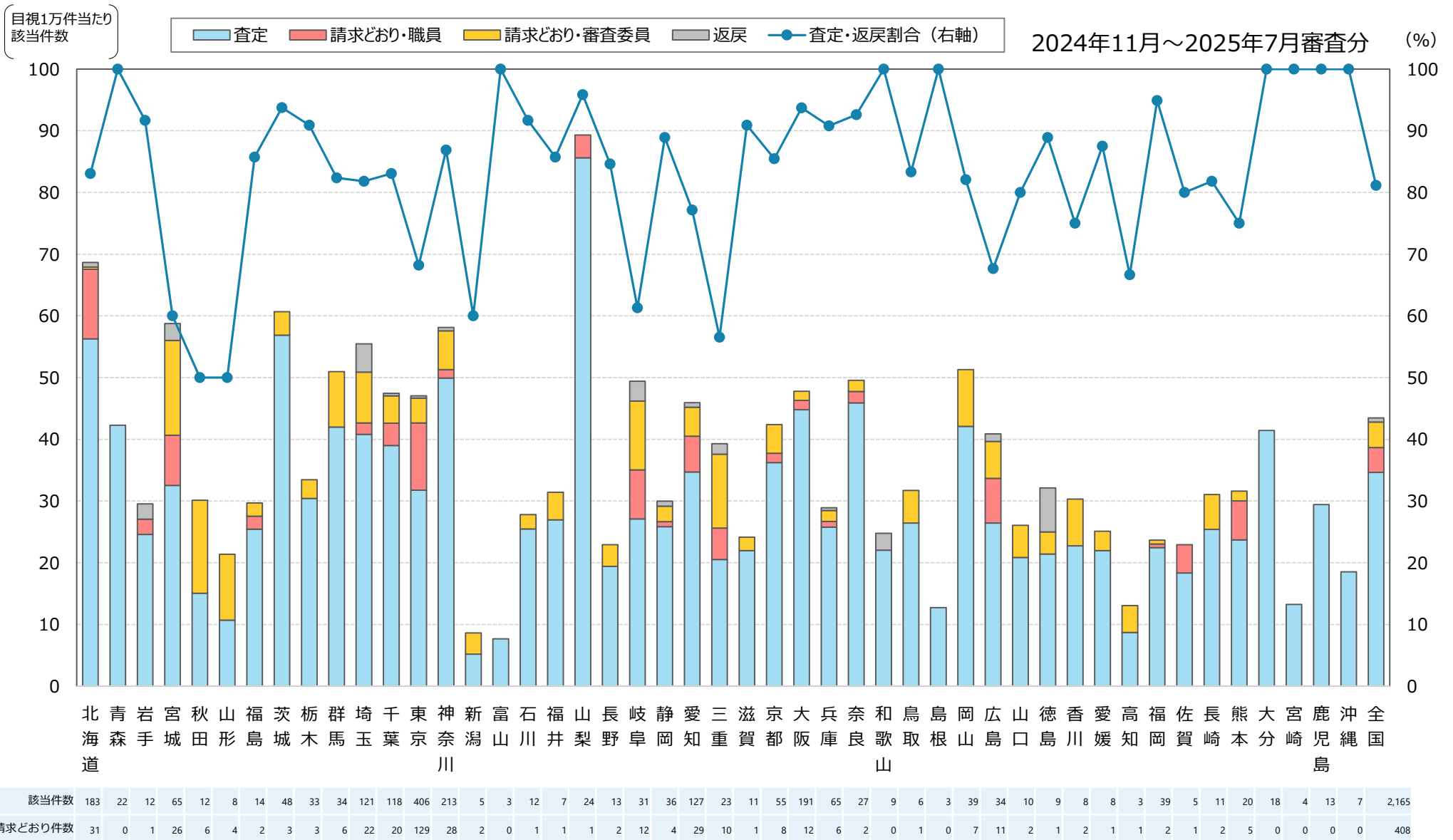
該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数2,165件のうち、**取扱いと異なる審査は57件（2.63%）**
検証対象24都道府県のうち、**フォローアップ対象は5都道府県**

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり 詳細等 から適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
				査定	返戻	査定 返戻 計					
01 北海道	183	183	100.00%	150	2	152	31	0	0.00%	0	0
02 青森	22										
03 岩手	12										
04 宮城	65	48	73.85%	36	3	39	9	17	26.15%	9	8
05 秋田	12	6	50.00%	6	0	6	0	6	50.00%	0	6
06 山形	8	8	100.00%	4	0	4	4	0	0.00%	0	0
07 福島	14										
08 茨城	48										
09 栃木	33										
10 群馬	34	34	100.00%	28	0	28	6	0	0.00%	0	0
11 埼玉	121	113	93.39%	89	10	99	14	8	6.61%	4	4
12 千葉	118	117	99.15%	97	1	98	19	1	0.85%	0	1
13 東京	406	398	98.03%	274	3	277	121	8	1.97%	4	4
14 神奈川	213	211	99.06%	183	2	185	26	2	0.94%	0	2
15 新潟	5										
16 富山	3										
17 石川	12										
18 福井	7	7	100.00%	6	0	6	1	0	0.00%	0	0
19 山梨	24										
20 長野	13										
21 岐阜	31	31	100.00%	17	2	19	12	0	0.00%	0	0
22 静岡	36	36	100.00%	31	1	32	4	0	0.00%	0	0
23 愛知	127	125	98.43%	96	2	98	27	2	1.57%	0	2
24 三重	23	16	69.57%	12	1	13	3	7	30.43%	0	7
25 滋賀	11										
26 京都	55	52	94.55%	47	0	47	5	3	5.45%	2	1
27 大阪	191										
28 兵庫	65										
29 奈良	27										
30 和歌山	9										
31 鳥取	6	5	83.33%	5	0	5	0	1	16.67%	0	1
32 島根	3										
33 岡山	39	39	100.00%	32	0	32	7	0	0.00%	0	0
34 広島	34	34	100.00%	22	1	23	11	0	0.00%	0	0
35 山口	10	10	100.00%	8	0	8	2	0	0.00%	0	0
36 徳島	9	8	88.89%	6	2	8	0	1	11.11%	0	1
37 香川	8	8	100.00%	6	0	6	2	0	0.00%	0	0
38 愛媛	8										
39 高知	3	3	100.00%	2	0	2	1	0	0.00%	0	0
40 福岡	39										
41 佐賀	5										
42 長崎	11	11	100.00%	9	0	9	2	0	0.00%	0	0
43 熊本	20	19	95.00%	15	0	15	4	1	5.00%	0	1
44 大分	18										
45 宮崎	4										
46 鹿児島	13										
47 沖縄	7										
全国	2,165							57	2.63%	19	38

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当

【参考】一般209 初診時における二次性高血圧症等がない高血圧症のみに対するコルチゾール等の取扱い【認めない事例】



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数